



島根県立美術館 ニュース

NEWS

vol. 097

光の記憶 *Memories of Light*



—館長あいさつ

美術館はどうあるのか

館長に就任しました藤間寛です。

島根県立美術館は平成11年(1999)3月6日、21世紀に向けオープンし開館24年目を迎えました。近年のコロナ禍や改修工事のため約一年の休館を経て、昨年6月に再スタートを切ったところです。

私はこの美術館建設にあたり、基本構想から実施設計や建築設計そして開館後は学芸員として展示・収集など学芸業務に深く関わってきました。美術館では基本的な性格に「県民に開かれた美術館」「芸術活動を育成する美術館」「水と調和する美術館」をあげ、県民の発表の場であり集いにぎわう場として、一方美術館の収集活動では「水」をキーワードに他にない特徴を目指しました。これは洋の東西における水の表現の違いに着目し特色ある収集を目的としています。また水は生命の維持に不可欠なものであり、さらには地球の環境問題にも絡み多角的な視点からの表現が考えられます。作品のコレクションは、短期間に完結するものではないことは言うまでもなく、まだ着手

したばかりです。近年受贈の永田コレクションの葛飾北斎作品は、館の版画収集の方針と特色を強力にアピールする存在といえます。

開館以後のこの20年の間には、美術館や博物館を取り巻く状況にも様々な変化がみられ、平成10年に国は「社会の変化に対応した今後の社会教育行政のあり方」を問い、博物館の設置基準の弾力化を提示し、21世紀に向けた新しいあり方が検討されました。同13年日本博物館協会では「博物館の望ましいあり方」「博物館の評価のあり方」について、同

14年度からの完全学校週5日制に実施に伴っては児童生徒に対しての博物館の役割に関して検討がありました。同23年の東日本大震災による文化財等の災害支援について、全国美術館会議では令和元年「大規模災害被災地における学芸員の役割」を報告しました。平成29年には「美術館の原則と美術関係者の行動指針」をまとめ、他方では「博物館における多言語化対応の現状と課題」など現代社会において美術館はどうあるべきかが問われました。

博物館・美術館は、社会教育施設あるいは文化施設として知的サービスを提供し、地域の文化振興に貢献するという社会的使命を担う役割があるといわれ、その基本的活動は、作品の収集・保存・展示・普及・調査研究にあります。前記のような周辺環境の変化やコロナ禍を経た現在、全国的に美術館の財政は決して十分とはいえず、費用対効果はもちろん利用者数の増加など経営者の視点に立った運営が指摘されて久しいところです。

当館の利用状況を振り返ると、開館後の2〜3年は入館者数が上昇するが次第に減少するといわれるように、開館時の入館者数50万人は6年後には年間20万人代となりました。その打開策の一つとしては、これまで利用がなかった人々の誘導で、そのためには魅力的な展示や満足度ある体験の提供が必要でしょう。また美術館のコアなファン層を育てることも重要で、現在のパスポーター4千人の維持、増加が望まれます。昨年のチームラボ展では初めての来館者や多くの児童生徒の鑑賞が



あったことは将来の利用者として期待されます。

かねて美術館は非日常的な空間とされ一人の来館の頻度は多くないといわれますが、日常では体感できない新しい「発見」や「感動」に出会い、美術による心の豊かさを感じたり、ひとときの癒しの空間となれば美術館の存在意義があるものと考えます。

館長 藤間 寛

展示室 1 水辺の
展示室

第1期

3月29日[水] - 4月24日[月]

第2期

4月26日[水] - 5月22日[月]

当館が所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。今年度、近世絵画・日本画は9期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示(一部展示替えあり)の予定です。



ギュスターヴ・クールベ《波》1869年

第3期

5月24日[水] - 7月3日[月]

第4期

7月5日[水] - 8月21日[月]

展示室 1 近世絵画
日本画

第1期

3月29日[水] - 4月24日[月]

特別コレクション展 「人を描く、動物と描く」

4月26日[水] - 5月22日[月]

多彩な人物・動物表現を通して、人間が自らと動物たちに向けたまなざしや作品に込められた意味を考えていきます。



重要文化財 狩野松栄《益田元祥像》
天正10~20(1582~92)年頃、
島根県立石見美術館蔵

第3期 5月24日[水] - 7月3日[月]

第4期 7月5日[水] - 8月21日[月]

展示室 3 工芸

河井寛次郎と民藝の仲間たち

1月25日[水] - 4月17日[月]

茶の湯の工芸

4月19日[水] - 6月19日[月]

大名茶人として知られる松平不昧は好みの茶器を出雲の職人に作らせた。不昧の期待に応えた木工の小林如泥や布志名焼の土屋雲善らによる茶道具を紹介しします。



土屋雲善《布志名焼色絵海老茶碗》江戸時代

ちょこんと工芸 6月21日[水] - 8月7日[月]

展示室 5 小企画

しまびコレクション×自由研究 どんな建物をつくる? 菊竹清訓の建築設計

7月13日[木] - 10月23日[月]

展示室 1 西洋絵画
洋画

2022年度

第3期 2月15日[水] - 6月19日[月]



アレクサンドル・カバネル《若い女性の肖像》
1886年

第1期

6月21日[水] - 10月9日[月・祝]

今年生誕200年を迎えたアレクサンドル・カバネル、日本近代洋画に影響を与えたラファエル・コランやジャン＝ポール・ローランスといったフランス・アカデミズムの画家たちを紹介します。

展示室 2 北斎

北斎コレクション第1期

4月5日[水] - 5月8日[月]

北斎コレクション第2期

5月10日[水] - 6月12日[月]

コレクション展示室2(「北斎展示室」)では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をいつでもご覧いただけます。



葛飾北斎《雷嶽三十六景 武州千住》(永田コレクション)
天保初期(1830~34)頃[第2期展示]

北斎コレクション第3期

6月14日[水] - 7月17日[月・祝]

展示室 4 写真

写真史のなかのDAIDO

3月23日[木] - 7月3日[月]

島根県立美術館の国内外の写真コレクションとともに、写真史のなかの森山大道の位置を探ります。



森山大道《犬の町〈何かへの旅・3〉より 青森県・三沢市にて》
1971(昭和46)年 ©Daido Moriyama Photo Foundation

アメリカの世紀 7月6日[木] - 10月2日[月]

展示室 5 企画展

森山大道 光の記憶 第2会場

DAIDO ALBUM

4月12日[水] - 6月26日[月]



《父・兵衛、母・美喜》個人蔵

幼少期の記録から、『につぼん劇場写真帖』で写真家として登場し、『プロヴォーク』の時代を経て様々な展開していく森山の活動を、作品と資料によって顕彰していきます。

Shimane Art Museum Collection コレクション展

観覧料

一般 300円
大学生 200円
高校生以下 無料

○ミュージアムパスポートをご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の場合は半額

宅野から世界へ 森山大道

光の記憶

60年の軌跡を凝縮

白い砂浜を走っていく男の背中を、泣きながら追いかけていく小さな躰を、男は高く抱き上げました。幼い眼差しに、海が、山が、砂浜が、一挙に飛び交って青空に抜けていきます。写真家・森山大道（もりやま だいどう、1938―）が父と過ごした宅野の記憶です。

島根県邇摩郡仁摩町宅野（現・大田市）は、石見銀山の外港として栄え、森山家は鉄の流通に関わる旧家のひとつでした。その長男だった父の転勤で、森山は各地を転々としながら育っています。少年時代、ポケットに携えいつもいっしょだったハモニカ。街を歩ながら、飽かず魅入っていたポスターや看板。映画館の暗がりですれ違った、銀幕に現れる様々な光景や人々。ハモニカがカ

メラに、映画館が暗室に変わり、森山大道は写真家となりました。

すでに少年期から旺盛な表現力を携えていた森山は、とりわけ絵は抜きんできていました。宅野の幼馴染みは皆、森山が画家になったと思っていたほどでした。写真の道に進んで以来60年間、その並外れた表出力は一貫しています。一方、それぞれの時代に変容を遂げながら、豊かに展開していったといえます。「写真とは何か」という問いを鮮烈につきつけ、「写真」という存在に躰ごとぶつかっていった1960年代末から1970年代初頭。「写真は光と時間の化石である」という写真の原点に立ち戻っていく1980年代。解き放たれたように世界中の街を闊歩していく1990年代以降。そして、2018年にはフ



森山大道《犬の記憶 番外 風景》
1983(昭和58)年
タカ・インシギャラリー蔵



森山大道《10.21(アクシデント・12)より》1969(昭和44)年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵



森山大道《地平線〈何かへの旅・7〉より》1971(昭和46)年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵
画像はすべて©Daido Moriyama Photo Foundation

関連企画

美術講座 聴講無料

講師 蔦谷典子(当館主任学芸員・本展企画者)
日時 5月28日(日) 14:00～(13:30開場/約90分)
会場 ホール(190席・当日先着順)

スライドトーク 聴講無料

講師 蔦谷典子(当館主任学芸員・本展企画者)
日時 4月30日(日)、5月14日(日)、6月4日(日)
各日14:00～(13:30開場/約60分)
会場 ホール(190席・当日先着順)



森山大道《ハワイ》2007(平成19)年 森山大道写真財団蔵

2023年
4月12日(水)→6月26日(月)

会場 企画展示室・展示室5
[関連展示] 展示室4「写真史のなかのDAIDO」
3月23日(木)～7月3日(月)

開館時間 10:00～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)

休館日 火曜日(ただし5月2日は開館)

写真家・森山大道(1938～)は、数々の国際的な賞に輝き、次々と大規模な国際展を開催して、今や世界の頂点に立ちました。島根県宅野で過ごした少年期からすでに旺盛な表現力を携えていた森山。この展覧会では、漆黒の闇から照射される光に満ちた生命体のような圧倒的な強さをもつ写真を発表し続けた森山の60年を凝縮します。

[観覧料]

オンライン・ローソンチケット[企画展+コレクション展セット券のみ]

一般:1,000円 大学生:780円 小中高生:300円

当日券[企画展+コレクション展セット券のみ]

一般:1,300(1,040)円、大学生:1,000(800)円、小中高生:400(320)円

●オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになります(ローソンチケット/ルコード:63730)●()内は20名以上の団体料金 ●身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライROID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は無料

主催:島根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまねグループ
特別協力:森山大道写真財団、東京工芸大学、Akio Nagasawa Gallery、
タカ イシイギャラリー、蒼穹舎 大田通典、アーツスペース シモダ
後援:朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、
中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、
日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



森山大道《加賀まりことべない沈黙》より1965(昭和40)年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵



森山大道《プリティ・ウーマン》2017(平成29)年 Akio Nagasawa Gallery蔵

ランス芸術文化勲章シユヴァリエを授与され、翌年写真のノーベル賞といわれるハッセルブラッド財団国際写真賞を受賞しています。森山大道は、今や世界の頂点に立ちました。

森山の眼差しが射た写真には、記憶が幾重にも重なっています。記憶のトンネルをくぐり抜け、目の前の現実と交差していくのです。漆黒の闇から照射される光に満ちた生命体のような写真群。この展覧会では、圧倒的な強靱さをもつ写真を発表し続けた森山の60年を凝縮します。

(主任学芸員・本展企画者) 蔦谷典子



テオ・ヤンセン《アニマリス・ブラウデンス・ヴェーラ》2013年 © Media Force

次回予告

テオ・ヤンセン展

会期 7月7日(金)～8月28日(月)

プラスチックチューブからなる体を持ち、風をエネルギーに歩行する「ストランドピースト (strand: 砂浜、beest: 生命体)」は、海面上昇問題解決のため、砂を巻き上げて海岸線を守る生命体という発想を基点として、テオ・ヤンセン（オランダ 1948～）が1990年から制作を開始しました。「動き」により「命」を与えられたその姿は見る者を圧倒し、生存のためのさまざまな能力を獲得しながら現在も進化し続けます。科学と芸術を横断するテオ・ヤンセンの作品世界をご紹介します。

オープニングセレモニー ご招待

要事前申込 参加無料

抽選で30名様を「テオ・ヤンセン」展のオープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテープカットにご参加いただけます。

日時 7月7日(金)9時40分～
(受付9時15分/約20分)

会場 ロビー

特典 展覧会図録(代表者のみ1冊進呈)

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前(ふりがな)②住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前(ふりがな) 1名まで可

申込先

〔ハガキ〕〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「テオ・ヤンセン」展
オープニングセレモニーご招待係
〔FAX〕0852-55-4714

申込締切 6月26日(月)当日消印有効

- 申込多数の場合は抽選となります。
- お客様の個人情報は、招待状の発送(郵送)以外には利用いたしません。
- 当選者の発表は招待状の発送(6月30日頃)をもってかえさせていただきます。(電話などでの個別のお問い合わせはできません。)



テオ・ヤンセン《アニマリス・ベルシビエーレ・プリムス》2006年 © Media Force

Event イベント情報

◎「森山大道 光の記憶」展開連

〈美術館キネマ①〉鑑賞無料

「過去はいつも新しく、 未来はつねに懐かしい 写真家 森山大道」

(112分/日本/2020年)

日時 4月23日(日)、6月10日(土)

①10:30～②14:00～

(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

監督・撮影・編集 岩間 玄

出演 森山大道 神林豊 町口 寛

配給・制作会社 テレビマンユニオン



◎「過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい 写真家 森山大道」フィルムパートナーズ



〈美術館キネマ②〉鑑賞無料

「森山大道 サンパウロ、路上にて」

(60分/日本/2008年)

日時 5月13日(土)

①10:30～②14:00～

(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

監督 渡辺 聡

出演 森山大道

配給 アップリンク

公式パンフレットをミュージアムショップにて販売します！

映画にも登場する造本家の町口寛さんによる造本設計で、合計80ページのボリュームながら、税込1,000円と入手しやすい価格です。ぜひ、映画鑑賞の記念にお買い求め頂ければと思います。

(パンフレットの仕様)本作に登場する、すべての森山大道作品のイメージが掲載されています。また、このパンフレットの表紙と裏表紙は様々なバージョンがございます。内容は同じですので、それぞれの表情の違いをお楽しみください。



〈美術館キネマ③〉鑑賞無料

「near equal≡森山大道」

(84分+10分インタビュー/日本/2002年)

日時 5月27日(土)①10:30～②14:00～(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

監督 藤井謙二郎

出演 森山大道、荒木経惟、西井一夫、笠原美智子
サンドラ・フィリップス、山岸享子、猪瀬光、榊原 奈

配給 ビー・ビー・ビー株式会社

〈美術館キネマ④〉鑑賞無料

「記録 MOVIE in LONDON 森山大道」

(60分/日本/2013年)

日時 6月17日(土)

①10:30～②14:00～

(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

監督 佐藤 充



つくる
たのしむ
アート
スタジオ

毎月第3日曜日の「しまね家庭の日」にあわせ、造形ワークショップを開催します。

「しまね家庭の日」は、家族の絆を強め青少年の健全な育成のための運動です。島根県内文化施設で「家族で来館された高校生以下の入館料等が無料」となります。ぜひご来館ください。



「色水あそび」※イメージ



「カラフル・アニマル」※イメージ

要事前申込 参加無料

色水あそび

日時 4月16日(日)、5月21日(日)、6月18日(日)

各日14:00～(約90分)

会場 アートスタジオ

企画・監修 川路澄人(島根大学教育学部教授)

▶参加方法等、詳細は島根県立美術館ホームページでご確認ください。

要事前申込 参加無料

カラフル・アニマル

日時 7月16日(日)、8月20日(日)、9月17日(日)

各日14:00～(約90分)

会場 アートスタジオ



湖畔のレストラン「RACINE」



「森山大道」展 期間限定
ランチコース

森山大道が幼少期を過ごした「宅野」(現島根県大田市)にちなみ、大田市石見地方の食材をテーマにしたコース料理をご用意いたしました。山陰ならではの海もあり、山もある食材の魅力を詰め込んだコースをぜひ一度お召し上がりください。

「森山大道展期間限定ランチコース」3,000円

(本日のスープ・本日の大田産鮮魚のフリット トマトソース 石見ポークのステーキ 石見銀山種無し柚子のマーマレード又は出雲尼子と牛ステーキ 赤ワインソース(変更の場合は1,200円プラス)・デザート・コーヒー)

■ランチメニュー[11:00～15:30(L.O.15:00)]

RACINEプレート……………1,800円

(スープ・プレート・パン又はご飯・コーヒー又は紅茶)

■島根和牛のステーキランチ……………2,500円

(スープ・サラダ・メイン・パン又はご飯・コーヒー又は紅茶)

ランチコース始めました。

■ディナー[17:00～]※完全予約制

■営業時間 10:00～18:00

(美術館開館時間に準じます)

※状況により閉店時刻が

早まる場合があります。

■レストラン電話

0852-25-6562

Gallery ギャラリー展示のご案内

会期	展覧会名	内容	問合せ先
4月13日(木) - 4月16日(日)	第140回 島根書道展	全室 書作品(漢字、かな、近代詩文書、大字書、前衛書、篆刻)を展示。	油谷 090-7542-9108
4月19日(水) - 4月24日(日)	第26回 書友墨斎会書展	1・2室 書道作品(漢字、かな、近代詩)。軸装、額装。	目黒 090-5705-6540
4月26日(水) - 5月1日(日)	切磋琢磨野(たくいちの)模写展	全室 浮世絵を模写した絵の展示。	有料 野田 0852-23-8133
5月3日(水) - 5月8日(日)	画業62年 第5回 鹿島昭一個展	全室 油彩画の展示。	鹿島 0852-21-5597
5月10日(水) - 5月15日(日)	六人展	1・2室 写真作品の展示。	山口 080-1947-3934
5月17日(水) - 5月21日(日)	絵画展	1室 絵画作品の展示。	大森 0853-69-1040
5月19日(金) - 5月22日(日)	第16回 しまね写真展	2・3室 島根県を中心とする写真愛好家のための写真公募展。	川上 090-2801-5253
5月31日(水) - 6月4日(日)	第26回 島根日本画協会展	1室 島根日本画協会会員による日本画展。	広田 090-1188-5753
6月11日(日) - 6月18日(日) ※6月13日(火)は休館日	第131回 島根洋画展	全室 島根洋画会の会員・準会員の作品と、県内から一般公募した作品の絵画展。	森山 090-5375-2608
6月21日(水) - 6月26日(日)	第66回 日本伝統工芸中国展	全室 日本伝統工芸展に準じた公募展の入賞・入選作品の展示(陶芸、染織、漆芸、木竹工、金工、人形、諸工芸)	日本工芸会中国支部 086-803-8208
6月30日(金) - 7月3日(日)	第38回 島根書道協会展	全室 県内全域から幅広く募集し出品された作品と協会構成員の作品を併せて展示。	植田 0852-26-6498
7月5日(水) - 7月10日(日)	第62回 島根新協展	1室 島根新協美術会会員による油彩、アクリル、水彩画の作品展。	小山 090-4699-1891
7月14日(金) - 7月17日(日)	第14回 模型の会「轍」作品展示会	1室 プラモデル作品の展示。	坂本 090-4576-3496
7月19日(水) - 7月24日(日)	第20回 おちらと木彫会展示会	2室 木彫彩色レリーフの展示。	島谷 0852-23-5866
7月28日(金) - 7月30日(日)	第14回 日本習字島根千鳥会児童書道展	1室 幼児から中学生の書道作品の展示。	渡部習字教室 090-9414-6098

○開室時間は通常10:00~18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。○ギャラリーは一般の方に貸し出ししているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。

こどもといっしょの鑑賞優先時間

かぞくの時間



毎日午前は「かぞくの時間」

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

- こどもといっしょの鑑賞優先時間(10:00~12:00)
- こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名様までコレクション展観覧無料



ミュージアムショップ

Museum Shop

森山大道展関連オリジナルグッズを販売



ミュージアムショップでは、「森山大道 光の記憶」の展覧会図録(3,300円税込)を販売予定です(全国の書店でもお求めいただけます)。ポストカードや美術館キネマ「過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい 写真家 森山大道」関連グッズのピクチャープレート(9,900円税込)を販売するほか、TOKYO CULTUART by BEAMSコラボオリジナルグッズも販売予定。詳しくは美術館ホームページをご覧ください。

オンラインショップ <https://www.sam-museumshop.shop/>



年間パスポートのご案内

当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。

プレゼントとしても購入いただけます。

※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

【会員特典】 企画展・コレクション展を何度でもご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

- ① 企画展観覧料 **半額** (同伴者2名様まで)
- ② ミュージアムショップでのお買い物 **5%OFF**
- ③ 「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)
- ④ 提携施設を割引料金でご利用いただけます。
- ⑤ レストランで **ソフトクリーム200円**
- ⑥ 来館ポイント5つで **ワンドリンクサービス**

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、**無料観覧券を1枚進呈**いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。

島根県立美術館メールマガジンEニュース
配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、sameneews@pref.shimane.lg.jpまでメールをお送りください。

島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>